

・その他の活動【公益目的事業】

(1) 民間外交交流

リヒテンシュタイン公国皇太子一行との懇談会

リヒテンシュタイン公国皇太子殿下一行の訪日に際し、10月1日に本会幹部との懇談会を開催した。リヒテンシュタイン側は、アロイス・リヒテンシュタイン公国皇太子殿下、クラウス・チュッチャー首相・財務大臣をはじめ11名、本会からは、長谷川閑史 代表幹事、前原金一 副代表幹事・専務理事をはじめ、本会幹部11名が出席した。

冒頭、皇太子および首相より、リヒテンシュタイン公国の政治体制、経済・産業構造等、近隣欧州諸国との関係について説明を受けた後、それを踏まえて、欧州金融危機や日・EU 経済連携協定に対するリヒテンシュタインの見方、国の競争力の源泉としての人材育成の重要性、両国の金融セクターの動向等について、意見交換を行った。

パリ商工会議所会頭との懇談会(11月12日)

2012年11月12日、欧州最大規模の商工会議所であるパリ商工会議所のピエール＝アントワヌ・ガイイ会頭の来日を機に、全会員を対象に講演会を開催した。

講演会では「グローバル化の中のフランスの産業・企業」を演題に、ガイイ会頭より、欧州危機の影響、フランス企業によるグローバル化への挑戦、日 EU 経済連携協定に対する見方などについて講演が行われた。また、質疑応答では、日 EU 経済連携協定構想に関連し、日本の非関税障壁と、欧州側が持つ「閉鎖的な日本」との古いイメージなどの問題点につき意見交換が行われた。

引き続き、会頭と、長谷川代表幹事以下本会幹部にて、昼食懇談会を開催し、仏オランド政権の財政・労働政策や日仏貿易関係について意見交換を行った。

(2) その他の会合

三陸農産業・被災事業者協力機構との懇談会

三陸農産業・被災事業者協力機構は、宮城県石巻市を中心として、東日本大震災により被災した農業者の復旧・復興を支援し、グローバル化に対応した新しい農業経営の確立に取り組んでいる。4月2日には、小原田良一 会長、瀧田一之 事務局長と新浪剛史 農業改革委員会委員長、藤森義明 経済連携委員会委員長との懇談会を開催し、主に農業の活性化について議論を行った。また、4月6日には、小原田会長、瀧田事

務局長と長谷川閑史 代表幹事、前原金一 副代表幹事・専務理事、木村恵司 震災復興委員会委員長との懇談会を行い、主に石巻市周辺における農業の復旧・復興状況と、国による支援策の利便性・課題などについて意見交換を実施した。

福井県原子力発電所所在市町協議会との懇談会

福井県の原子力発電所が立地する4市町で構成される福井県原子力発電所所在市町協議会と本会幹部との懇談会を11月20日に開催した。協議会側より野瀬豊 会長（高浜町長）、時岡忍 副会長（おおい町長）、山口治太郎美浜町長、河瀬一治 敦賀市長が、本会側より長谷川代表幹事など13名が出席し、今後のエネルギー政策や、原発立地自治体が直面している原子力安全・再稼働問題、地域経済・雇用への影響などの課題について意見交換を行った。

（3）経済三団体等としての連携活動

経済三団体共催新年祝賀パーティ

年初恒例の「経済三団体共催新年祝賀パーティ」は、今年度は本会が幹事となり、1月7日帝国ホテルで開催した。来賓として12月に就任された安倍晋三総理大臣に來臨いただき、挨拶の中で「大胆な金融緩和、機動的な財政出動、成長戦略」を三本の矢として、日本経済再生に取り組む決意をあらためて表明した。

当日は、各団体所属会員をはじめ政界、官界、各国在日公館等の方々を招き、例年を上回る1,700名が出席した。

国公賓歓迎昼食会

本会、並びに日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本貿易会は、外務省からの依頼に基づき、外国からの賓客の来日に際し、歓迎昼食会を共催にて実施している。

2012年度は10月2日にホテルニューオータニにおいて日本商工会議所が幹事団体となり、アブドゥル・ハリム・ムアザム・シャー第14代マレーシア国王陛下をお迎えし、歓迎昼食会を開催した。

マレーシア側は国王陛下をはじめ、サレフディン王弟殿下、カレド・ノルディン高等教育大臣ら約10人が出席した。また、日本側は岡村正 日本商工会議所 会頭をはじめ、米倉弘昌 日本経済団体連合会 会長、長谷川閑史 経済同友会 代表幹事、佐々木幹夫 日本マレーシア経済協議会 会長、朝田照男 日本貿易会 副会長ら約80人の経済界トップが参加した。

幹事団体を代表して岡村会頭が歓迎挨拶を行い、両国間のさらなる関係強化の重要性を強調した。